**障害等級と日常生活におけるコミュニケーション活動（場とレベル）の具体的状況例**

様式第２３号

３級の欄の音声言語機能のレベルに該当すれば３級と判定する

３級の欄の項目が可能でも、４級の欄のレベルであれば４級と判定する

※ それぞれの項目について、できる場合は（○）を、できない場合は（×）をご記入下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　障害等級 |  ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのﾚﾍﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの場 | 理　解　面 | ○× | 表　出　面 | ○× |
| ３級 |  本　人 ↓↑ 家　族  | ・本人や家族の名前がわかる |  | ・本人、家族の名前が言える（通じる） |  |
| ・住所がわかる |  | ・住所が言える（通じる） |  |
| ・日付、時間がわかる |  | ・日付、時間、年齢が言える（通じる） |  |
| ・部屋の中の物品を言われてわかる |  | ・欲しい物品を要求できる（通じる） |  |
| ・日常生活動作に関する指示がわかる<風呂に入って、ＳＴに行って、薬を２錠飲んで･･･> |  | ・日常生活動作に関連する訴えができる（通じる）<窓を開けて･･･>・身体的訴えができる（通じる） |  |
| ４級 |  本　人 ↓↑ 家　族  周　辺  | ・問診の質問が理解できる |  | ・病歴、病状が説明できる（通じる） |  |
| ・治療上の指示が理解できる<ＰＴ、薬の飲み方･･･> |  | ・治療上のことについて、質問ができる（通じる）・家族に内容を伝えることができる |  |
| ・訪問者の用件がわかる |  | ・訪問者に用件を質問できる（通じる）・用件を家族に伝えることができる |  |
| ・電話での話がわかる |  | ・電話で応答できる・家族に内容を伝えることができる<いつ、誰、何、どこ>・知り合いに電話をかけて用件を伝えることができる（通じる） |  |
| ・尋ねた道順がわかる |  | ・行先を言える（通じる）・道順を尋ねることができる（通じる） |  |
| ・おつかいができる<どこで、何を、いくつ、いくら、誰に、いつ> |  | ・買物をことばでできる（通じる）<何をいくつ、いくら> |  |
| ・家族以外の者から、日常生活動作について、質問されたり、指示されたりしたときに、理解できる |  | ・家族以外の者に、日常生活動作に関することを説明することができる |  |
| 【特記事項】　 |

令和　　年　　月　　日　　　　　　　　　医師氏名

　　　　　　　　　（署名または記名押印）